

IPNU

キャンパスネット



第15回 開学記念事業

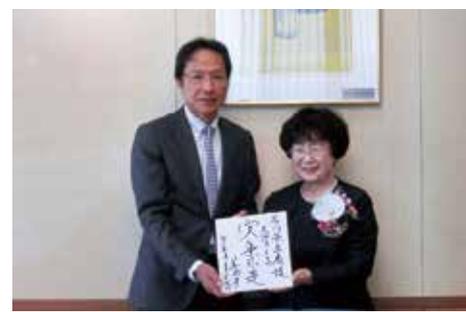
学生部長 牧野 智恵

2015年5月29日（金）、石川県立看護大学第15回開学記念事業が催されました。

記念式典では、学長からの挨拶の後、音楽サークル、華サークル及びいきいき交流サークル興津チームが「学長表彰」を受賞しました。また、本学の吉田和枝教授、垣花渉准教授に「ベストティーチャー賞」、石川県発達障害支援センターの瀬戸美津子先生に「感謝状」が贈呈されました。

特別講演会では、東京大学名誉教授の姜尚中（カン・サンジュン）氏による「それでも人生にイエスという」と題した講演が開催されました。講演では、「死、病、貧困などさまざまな苦悩が人間には襲いかかるが、そのような苦悩に直面したときこそ、人間性のより深い味わいが生まれる」と話され、「人間は苦悩する存在（ホモ・パティエンス）である。苦悩に直面したときに、“なぜ私だけが・・・”、“苦しい人生に何の意味があるのか！”と自分から人生を問うのではなく、“人生が我々に問うているのだ”とコペルニクス的転回をすることで、その苦悩を意味あるものへと転換でき、人間的な味わい深さが生まれてくる」、「いかなる苦悩においても人間は息を引き取るそのときまで、苦悩を意味あるものに変えることができる。終末期においても『態度価値』の実現によって人生を意味あるものに変えることができる」とV.E. フランクルの言葉を引用しながら学生にもわかりやすく説明してくださいました。

そして、そういった人間の可能性を信じ、これからの学生生活においてさまざまな体験をして学んでほしいと、学生にエールを送ってくださいました。



目次

第15回開学記念事業	1	第12期卒業生に聞く	6	5段階実習	6
大学の主な動き		看護師として就職して	5	大学祭のお知らせ	7
第16回入学式	2	保健師として就職して	5	大学院紹介	7
石川県立看護大学に入学して	2	助産学専攻科に進学して	5	地域ケア総合センターから	8
学長表彰	2	養護教諭特別科に進学して	5	図書館から	8
JICA 日系研修	3	キャンパスライフ		トピックス	8
看護キャリア支援センターから	3	フィールド実習	6	平成27年度後期キャンパススケジュール	8
夏のオープンキャンパス2015	4	ヒューマンヘルスケア科目	6		
新任教員紹介	4	小児看護学実習I	6		

大学の主な動き

第16回入学式

2015年4月3日(金)、第16回石川県立看護大学入学式が挙行されました。谷本正憲石川県知事をはじめ、かほく市副市長、石川県立公立大学法人理事長、石川県医師会長、石川県看護協会会長のご臨席を賜り、看護学部看護学科90名(1年次生84名、3年次編入生6名)、大学院看護学科研究科10名(博士前期課程)が本学への入学を許可されました。石垣和子学長は、「大きな視野で世界をとらえることのできる人材になってほしい。そして本学で自分らしい生き方を見つけてほしい」と祝辞を述べられました。次いで学部を代表して前多秋穂さん、大学院を代表して千原裕香さんが今後の大学生活への希望と決意を込めて宣誓しました。

今年も期待と希望に満ちあふれた新しい学生を迎え、我々教職員も学生の個性を生かした教育に全力で取り組んでいきたいと思ひます。

学生部長 牧野 智恵



石川県立看護大学に入学して



私の夢は、看護師になって地元石川県に就職し、地域に貢献することです。高校の時に見た大学パンフレットで、本学がボランティア活動やフィールド実習を通して地域で地元住民と学ぶ活動に力を入れていることを知りました。その点に強く惹かれ、是非ともこの大学で学びたいと思いました。

本学に入学して早4ヶ月が経ち、いつの間にか前期の講義が終了しました。毎日の授業は初めて学ぶことばかりで焦ったり落ち込んだりすることもあります。夢に向かって頑張っています。壁にぶつかっても、同じ目標を持つ仲間と協力して乗り越えていけるのは、本学ならではの良さだと思います。私が目標とする看護師像は、患者さんから信頼される十分な知識と技術、冷静な判断力を身につけていると同時に、患者さんと共に寄り添いひとりひとりに合った看護が実践できる看護師です。本学で多くのことを学び吸収し、人間的にも成長して、少しでも目標とする看護師に近づきたいと思ひます。

1年 前多 秋穂

学長表彰

今年度の石川県立看護大学開学記念事業における学長表彰では、いきいき交流サークル興津チーム、華サークル及び音楽サークルの3団体が受賞しました。

いきいき交流サークル興津チームは津幡町興津地区を舞台に地域資源を生かした地域の活性化に取り組んだこと、華サークルは13年間にわたり大学行事に際して「花によるおもてなし」をおこなってきたこと、音楽サークルも長年、大学行事、地域イベントに貢献してきたことが評価されました。おめでとうございます。



大学の主な動き

JICA 日系研修 「パラグアイ料理の調理と試食～ JICA 研修生・学生・教職員との交流～」

地域ケア総合センターでは、今年度も JICA 日系研修「高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成」を実施し、パラグアイから 2 名の研修生が来学しました。

研修の途中、研修生による「母国の郷土料理を振る舞う会」が行われました。

メニューは、スパイスの効いたカレーと鶏もも肉のフライパン焼き、採れたて野菜のサラダと刻んだ野菜のマリネでした。

カレーに特徴的なスパイスはクミン。パラグアイから持参されたもので、細かく砕いてカレーの香りづけに用いられました。調理のはじめに油で炒めておくと、香りが強くなるといわれています。中南米のエスニック料理に欠かせないスパイスを持参されていることに感心しました。

採れたて野菜や米は、教職員からの提供を受け、学生達が野菜サラダを作りました。刻んだ野菜のマリネも、夏らしいさわやかな酸味でとてもおいしくいただきました。

学生 50 名、教員 10 名、職員 3 名が食卓を囲み、郷土料理を食べながら交流を深めました。パラグアイの食文化について見識を深めた一日となりました。



看護キャリア支援センターから

地域包括ケア時代に即した看護職への研修

開設 2 年目を迎え、看護キャリア支援センターでは、感染管理認定看護師の教育以外に地域包括ケア時代に即した看護職の研修も行っています。

1つは、「特定分野における臨地実習指導者講習会」です。この講習会は、地域包括ケア時代に活躍する看護師の育成のために、在宅看護学や老年看護学の実習教育を担う訪問看護ステーションや老人保健施設等の実習指導者を育成する講習会です。8月から9月にかけて、石川県内 24 名の方が 7 日間にわたり、受講しました。

もう 1つは、石川県内の看護管理者を対象に、病院機能分化や地域包括ケアを推進していくうえでの看護管理の課題を自己解決できるように支援する「看護管理者研修」です。11月に4日間にわたり開催します。

これから保健医療福祉の取り巻く環境は大きく変動し、それに伴い看護師の役割も拡大していきます。より質の高い看護職のキャリア形成に貢献できる研修を見極め、企画していきたいと考えています。

看護キャリア支援センター 准教授 石川 倫子



大学の主な動き

夏のオープンキャンパス 2015

2015年7月18日（土）に夏のオープンキャンパス2015を開催しました。当日は台風の影響により朝方は暴風雨に見舞われ、大変足場の悪い中でしたが、県内外から高校生、専門学校生、社会人、保護者ら約400名の参加がありました。

本学の学生広報委員や学生ボランティア、教職員らがキャンパス見学や看護学実習体験、相談・交流コーナー、保護者セミナーなどの各企画を担当し、賑やかに参加者との交流を楽しみました。

このオープンキャンパスが参加者の皆さまにとって本学への理解や関心を深める機会となり、一人でも多くの方々に本学への進学を志していただけることを期待しています。



新任教員紹介

基礎看護学 講師 林 静子



4月から基礎看護学の講師に着任しました、林静子と申します。富山県出身ですが、これまで滋賀県、埼玉県と海と隣接しない土地で仕事をしてきました。北陸の地に戻り、毎日の通勤で海が見えるたびに心をワクワクさせております。

大学教員として働くのは3年振りとなりますが、毎日多くの先生方や学生の明るい笑顔に助けをもらいながら、看護教育に携わっております。研究活動としては、本年3月に修了した本学大学院博士後期課程での研究課題を継続しており、看護師の観察力向上を図るために客観的に眼の動きを示し、視覚による観察時の思考過程を分析した結果から、新人看護師や看護学生への観察力向上を目指した教育プログラムの開発に取り組んでいます。

本学では地域と連携した看護の拠点としての役割を持ち様々な取り組みがされており、私自身もこれまでの経験を活かし地域の方々と連携を図りながら、少しでも貢献できればと考えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第12期卒業生に聞く

看護師として就職して



私は県外の新たな環境で様々な疾患とその看護を学びたいと思い、内科と外科のローテーション制度のある名古屋大学医学部附属病院に就職しました。3ヵ月間の心臓外科での研修を終え、現在は血液内科・消化器内科・糖尿病内科の混合病棟で働いています。私は学生時代から慢性期看護に進みたいと考えていましたが、急性期と慢性期、両方の看護を経験し、それぞれの魅力を知ったことで興味の幅が広がったように思います。環境が変わり一から覚えることは多いですが、県外出身の同期も多く、仕事面でも生活面でも情報交換し励ましあえる環境はとても支えになっています。学生の皆さんには様々な経験をして、自分の進路の選択を柔軟に考えてほしいと思います。

名古屋大学医学部附属病院 吉岡 真理



私は急性期看護に興味をもち、現在はICU病棟の看護師として働いています。重症度の高い患者さんも多く、命に関わる重要な場であることを改めて感じ、緊張の毎日ですが、知識・技術ともに尊敬できる多くの先輩方に支えられながら頑張っています。仕事は日々新しいことの連続で、学ぶべきことや学びたいことの多さに挫けそうになることもあります。先輩方のフォローや同期との協力のもと充実した毎日を過ごしています。疾患や看護の勉強をしながら、さまざまな業務を覚えていく試行錯誤の日々の中でも、4年間の大学生活で学び、感じた“看護の意味”を思い出しながら、患者さんに寄り添った関わりができるよう心掛けています。

金沢大学附属病院 上田 優葵乃



私は、金沢大学附属病院の循環器・代謝内科で看護師として働いています。入職したばかりの頃は何も分からず、何もできない自分に悩み落ち込むことばかりでした。しかし、プリセプターをはじめとしたたくさんの先輩方が一つ一つ丁寧に指導して下さり、自分にも出来る看護業務が少しずつ増え、積極的に患者さんと関われるようになってきました。毎日の業務に追われ忙しいですが、そのなかでも看護師としてのやりがいを感じる場面も多く、毎日がとても充実しています。まだまだ未熟な私ですが、これからも多くのことを経験し、一人前の看護師になれるよう日々努力していきます。

金沢大学附属病院 竹村 亜衣

保健師として就職して



私は大学生活を通して、地域で暮らす人々が健康でいきいきと生活するためのお手伝いをする仕事に魅力を感じ、保健師を目指しました。

就職して1年目でまだまだ緊張することも多くありますが、赤ちゃんから高齢者の方までたくさんの住民の皆さんと関わらせていただき、充実した日々を過ごしています。これからも大学での講義や実習で学んだ多くの経験を活かして仕事をするとともに、日々新しいことを学ばせていただきながら、自分の理想とする保健師を目指していきたいと思います。

大学では就職試験や国家試験の勉強で苦勞した時もありましたが、その日々を乗り越えられたことが今では大きな自信となっています。学生の皆さんも目標に向かってたくさんのことを学んでください。

長野市保健所健康課 中野 明木

助産学専攻科に進学して



私は大学卒業後、金沢大学大学院に進学し助産師免許取得に向けて勉強しています。大学院での研究や助産学の勉強は発展的な内容が多く、また先生から教えられるだけでなく、学生自身が自ら課題を見つけ学習していく必要があるため、正直苦勞しています。しかし、同じく助産師を志す仲間にも恵まれ、充実した日々を過ごしています。特に講義や実習では、助産師の仕事の魅力や素晴らしさに気づかされます。進路を決めるにあたって、看護師ではだめなのか、臨床経験を積まずに大学院に進んでいいものかと悩みましたが、今ではこの道に進んだことを誇りに思います。大学院への進学や助産師志望の方は、ぜひ一度研究室にいらしてください。大歓迎です。

金沢大学大学院 博士前期課程 健康発達看護学講座 助産学分野 近藤 夏美

養護教諭特別科に進学して



私は大学での授業や小児看護学実習、小学校実習を通して「子どもたちの心身の健康を守りたい」と強く思うようになり、養護教諭になることを目指し、金沢大学養護教諭特別科に進学しました。別科での授業や勉強は大変ですが、その大変さ以上の新しい発見や学びがあるのでとても充実しており、養護教諭という職業の素晴らしさや重要さを日々改めて感じています。

4年生の頃は国家試験の勉強と卒業研究に加え、進学のための勉強もしていたのでとても大変で、周り自分を比べて気持ちが焦り辛くなることもありましたが、この経験があったからこそ今夢に向かって進むことができていると思います。学生の皆さん、この石川県立看護大学での日々の学びや経験を大切に、「自分が本当に学びたいこと・やりたいこと」を見つけてください。

金沢大学養護教諭特別科 馬場 日菜子

キャンパスライフ

フィールド実習



私は大学に入学して最初の実習であるフィールド実習を通して、大学における学びについて知ることができたと感じています。大学に入るまでの私の学習といえば、先生から出された課題やワークを淡々とこなし、わからないことは全てインターネットで調べるといった受身の学習でした。しかし、フィールド実習ではいつも正確で信憑性のある情報が求められるため、インターネットの情報だけでは不十分であり、図書館で文献を探して読み込んだり、いろいろな情報を集めたりすることが大変でした。またレポートや発表用資料を作成する際は、どのように書けば相手にとってわかりやすい文章になるのかを考えることから国語力の大切さを改めて感じました。遅くまで作業をする日も多く、大変な実習でしたが、実際に現地に出向くことで教科書では学べないことをたくさん得ることができ、さらに仲間と協力して一つのものを作り上げる達成感が得られ、とても充実した実習になりました。この経験を今後の大学生活でも生かしていきたいと思います。

1年 押田 知子

ヒューマンヘルスケア科目



私は、ヒューマンヘルスケアの地域活動において、様々な地域の間を通して、地域の住民と一緒に健康課題を明確にし、健康課題を解決するための企画・立案を行ってきました。これらを通して、地域の健康課題を解決するためには、その地域のニーズの把握が重要となることを学びました。地域のニーズを把握していなければ、その地域のためと考えた企画でも、自分のひとりよがりの考えとなってしまうからです。また、活動はチームで行うことが多く、チームでの役割の分担、会議、報告という当たり前のことが大切だと改めて知ることができました。

地域住民とともに行う事業等の地域での活動は、その地域の方々の思い、考え、ニーズを知ることから始まり、そこから住民とともに健康課題を明確にし、準備を整え、企画し、さらに人々と地域の状況の変化に対応していかなければならないことを学ぶことができました。今後も自分が学んできたことを活かして、地域の方々と関わっていきたいです。

2年 西村 陸

小児看護学実習 I



私は小児看護学実習 I において 4 - 5 歳児を受け持たせていただきました。これまでに乳幼児と関わった経験が少なく初めのうちは対応に戸惑いがありました。しかし、指導者の方からの助言や日々の活動を通して、危険な行動やけんか等の仲裁に入り、園児同士で注意が喚起できるように声をかけたり、それぞれの主張を聞きお互いに状況を理解できるように説明したり、両者が良くなかった点や相手の思いを考えられるように一緒に考えたりすることで、乳幼児期の社会性の発達や関わり方について学ぶことができました。また、講義で学んだ乳幼児の発達段階について、実際の関わりを通して年齢や月齢によって発達に差異が見られることや園児それぞれの特性を知ることができました。そして、これらを理解した上でどのように関わることで成長・発達を支えることができるか学ぶことができました。4日間という短い期間でしたが得られた学びを今後の実習等で生かしていきたいと思います。

3年 館 勇作

5 段階実習



保健師は看護師と比べると人々の認知度が低く、何をしている職種なの？と聞かれることが多いです。保健師は、病院や保健所、保健センター、企業などに所属して、人々が抱える健康問題の背景にある社会の問題を察知し、原因を探索して根本的な解決を図る社会を看護する仕事とも言えます。地域看護学実習では、各保健事業への参加や見学、実際に地域住民を対象に健康教育を実施することを通して、保健師の役割や活動内容、他職種との連携、地域の人々とのつながりなど、病院での看護学実習とは異なる対象・環境で学びを深めることができました。保健師は地域住民とともに健康な社会をつくっていくために、健康課題の解決に向けた保健計画策定、実施、評価だけでなく、社会資源の提供や地域や人々に必要なネットワークづくりなども保健師の役割であり、私たちが地域で暮らしていく中で欠かせない職種であると感じました。実習での学びを今後の看護活動に生かしていきたいと思います。

4年 折川 翼

キャンパスライフ

大学祭のお知らせ

第16回石川県立看護大学大学祭 10月24日(土)・25日(日)開催!!

石川県立看護大学2年大学祭実行委員長の新田三起です。今年の大学祭は10月24・25日に行われます。今年のスローガンは「看大祭ダヨ全員集合! ~ keep smiling ~」です!このスローガンは地域の方や学生など多くの方が集まって交流し笑顔が絶えない大学祭にしたいと思いましたが、今年はカラオケ大会に一般の方を募集したり、かほく市の青年部の方にも協力を依頼したり、学生と地域の方との交流を少しでも増やし、楽しんでもらえるように考えています!当日、沢山の人が集まってにぎやかな大学祭にしたいと思っていますので、皆さん是非来てください!!



石川県立看護大学大学祭 講演会
**もっと知ってほしい
 ダウン症のこと**
 ~親の立場と医師の立場から~

金沢星稜大学人間科学部
 スポーツ学科教授 奥田鉄人氏



講師紹介
 1970年生まれ。1995年に金沢医科大学医学部を卒業し、1999年に金沢医科大学医学研究科を修了。その後、医師としてさまざまな病院でダウン症患者を駆けつけ、現在は、金沢星稜大学人間科学部教授として、特別支援学校の職業実践課程を教える。また、金沢医科大学病院と西苑病院で診療を行っている。奥田氏自身もダウン症の子をもつ親である。
 資格:日本整形外科学会専門医
 ・日本骨髄移植学会指導医
 ・日本体育協会公認スポーツ医

日時:平成27年10月24日(土)
14:00~15:30

場所:石川県立看護大学 大講義室

主催:石川県立看護大学 大学祭実行委員会
 後援:石川県立看護大学 さの会

大学院紹介

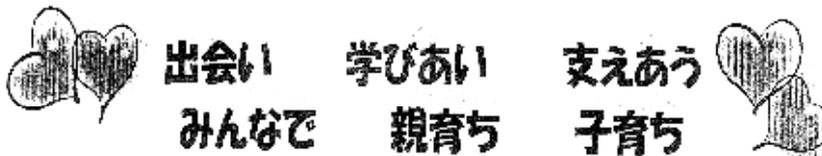
「博士前期課程(修士) 子どもと家族の看護分野」
 「博士後期課程(博士) 実践看護科学分野(子どもと家族・女性)」

教授 西村 真実子

子どもと家族の看護学分野では、子どもと家族にまつわる問題、とりわけ子育てを中心課題としている。子どもが幸せに健やかに育つには、親・家族も幸せでないとうまくいかない。1990年代から子育てに不安や困難をもつ親や子どもの虐待が増え、社会問題として取り上げられ、さまざまな子育て支援(親育ち支援・子育て支援と言った方が良くかもしれない)が行われるようになった。私たちの分野でも、この考えに基づき、本学地域ケア総合センター事業として「Nobody's Perfect 完璧な親なんかいない」親支援プログラム(募集ちらし参照)や、母の集いの場「どろっぶ・いん・さろん」を行っている。また、先進的な支援活動にかかわる研究を行政と連携し取り組んでいる。このような支援活動・研究活動を通して地域社会や専門職者に何が必要なのかを考え、現場や社会に役立つ提案や情報発信をしたいと考えている。本分野の教員4名、近接領域の女性看護学分野の教員、院生、修了生等とは是非一緒に取り組みましょう。



カナダ「ほれ」の親育ち支援プログラム Nobody's Perfect '完璧な親なんていない'



~参加者募集~

完璧は誰にもありません。はじめての子育てがうまくできるわけありません。プログラムでは、「新お母さん」の人間であること「1人では返るところから始まります。『これでもいいかな...』と不安だったり、どうしたらいいのかわからなかったり、イライラしたりあったり、「怒り大発...」と白目な自分があつたり...。それゆえ子育ては大変だし、辛い。我が子なのに『かわいさ』で親うることもある、でも大丈夫!

プログラムを通じて、みんなで語り合ふ交流しながら、自然に合った子育ての仕方を見つけていきたいと思います。

地域ケア総合センターから

平成 22 年度に本学はかほく市と包括的連携協定を締結しており、その事業の一つに、学生によるかほく市高松地区の高齢者世帯への家庭訪問があります。これは、地域看護学の家庭訪問演習の一環として、3 年次学生の授業に取り入れています。

この家庭訪問演習を通して、学生自らが個人や家族の健康課題から地域に共通した健康課題やそれらを引き起こしている背景について考え、個別支援の方法や保健医療福祉サービス及び地域のケアシステムについて考えるきっかけになることを期待しています。

家庭訪問の実施にあたり、訪問を受け入れていただいている多くの住民の方々をはじめ、かほく市関係者各位に厚くお礼を申し上げます。

以下、学生の感想を一部紹介します。

「家族や周囲の人々の変化や環境の変化が高齢者自身の身体的、精神的状況等に影響を与えていることが理解できた。」

「ご本人が健康には問題がないと思っていても、身体状況や生活状況を過去に遡りお聞きすることで、潜在的な健康問題が見えてくるのがわかった。」

「家庭訪問を行うことで生活をイメージしやすく、実際の住居環境と健康課題を結びつけて考えることができるということが理解できた。」

「地域との交流を持てている方や孤立気味の方など人それぞれの生活を送られているが、その方に合った交流の仕方と関わり方が重要だと思った。」

図書館から

「石川県立看護大学学術リポジトリ」について

平成 25 年 3 月、学位規則の改正により、学位論文をインターネットの利用による公開が義務づけられました。当大学では平成 26 年 8 月に国立情報学研究所が運用する、共用リポジトリサービス「JAIRO Cloud」の利用申請を行い、JAIRO Cloud を利用した機関リポジトリの構築を開始しました。

平成 27 年 4 月、「石川看護雑誌」1 巻～12 巻、及び学位論文を収録した、「石川県立看護大学学術リポジトリ」を公開し、国立国会図書館への学位論文の電子データ提供並びに CiNii 及び JAIRO への学術論文のデータ提供を行うことができました。これによって、教育研究成果のオープンアクセス化を実現いたしました。

アクセス方法は、大学 HP にリポジトリのパナーが貼り付けてありますので、クリックしていただければご利用いただけます。



トピックス

認定看護管理者・認定看護師合格！

2015 年 7 月に第 19 回認定看護管理者（Certified Nurse Administrator：CNA）合格者が発表されました。本学大学院博士前期課程看護管理学分野修了生 3 名が合格しました。

坂本 和美さん（金沢市立病院）

藤田 恵子さん（独立行政法人国立病院機構石川病院）

越中 のり子さん（独立行政法人国立病院機構北陸病院）

また、認定看護師（Certified Nurse：CN）認定審査の合格者も発表され、本学附属看護キャリア支援センター感染管理認定看護師教育課程 1 期生 29 名が認定審査に合格しました。

平成 27 年度 後期キャンパススケジュール

後 期			
授業開始	10 月 1 日(木)	冬季休業	12 月 24 日(木)～ 1 月 4 日(月)
履修登録受付	9 月 24 日(木)～ 10 月 6 日(火)	補講・試験	2 月 10 日(水)～ 2 月 19 日(金)
大学祭(看大祭)	10 月 24 日(土)～ 10 月 25 日(日)	春季休業	2 月 20 日(土)～
秋のオープンキャンパス	10 月 24 日(土)	卒業式・学位授与式	3 月 19 日(土) 予 定

石川県立大学法人



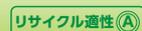
石川県立看護大学 看護学部看護学科 大学院看護学研究科

ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

〒929-1210 石川県かほく市学園台1丁目1番地 TEL 076-281-8300 FAX 076-281-8319

URL <http://www.ishikawa-nu.ac.jp> e-mail office@ishikawa-nu.ac.jp

版權は石川県立大学法人に帰属します



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。